

絶滅危機増大種を守るために!

ハマゴウ保全活動のお知らせ

ハマゴウは、内陸の淡水湖では唯一琵琶湖にのみ自生している海浜植物です。

来る6月8日(土)、近江八幡市佐波江(さばえ)地先において地元自治会が「ハマゴウ」の保全活動を行います。この活動は、平成19年度から毎年行われており、当管理所は、その活動を協働します。

実施日 : 令和元年6月8日(土) 13:00~15:30頃 (雨天中止)

※雨天中止の場合には、当管理所のホームページにてお知らせいたします。

場所 : 佐波江湖岸ハマゴウ自生地(別紙資料参照)

主催 : 近江八幡市佐波江自治会

その他 : 取材を希望される方は、6月7日(金)までに下記問い合わせ先へご連絡の上、当日13時までに佐波江自治会館までお越し下さい。

その他、当管理所では様々な行事を予定しています(別紙参照)。詳細な日程が決まり次第、改めてお知らせいたします。



令和元年6月3日

独立行政法人 水資源機構
琵琶湖開発総合管理所

発表報道機関

滋賀県報道機関

お問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所
総務課長 堀口(ほりぐち)

住所: 大津市堅田2丁目1-10

電話: 077 (574) 0680

FAX: 077 (574) 1739

<http://www.water.go.jp/kansai/biwako/index.html>

「ハマゴウ」保全の活動概要

- 1 目的 「ハマゴウ」は、海岸の砂地に分布する植物で海沿いに見られますが、内陸の淡水湖に自生しているところは琵琶湖以外に例がありません。
滋賀県のレッドデータブックで絶滅危機増大種に指定されている「ハマゴウ」を保全するため、下草刈りなどを行うものです。
- 2 参加者 (1) 近江八幡市佐波江自治会の皆様
(2) 瀬戸口 浩彰先生（京都大学大学院人間・環境学研究科関連環境学専攻）
大槻 達郎 学芸員（滋賀県立琵琶湖博物館）
ほか京都大学研究室学生の皆様
(3) 水資源機構琵琶湖開発総合管理所職員

合計 約20人
- 3 日時 令和元年6月8日（土）13時00分～15時30分頃（雨天中止）
※作業開始前に集合場所にて、大槻学芸員によるハマゴウについての紹介講座があります。
※中止の場合には、当管理所のホームページにてお知らせいたします。
- 4 集合場所 佐波江自治会館（別紙地図参照）
- 5 実施場所 佐波江湖岸ハマゴウ自生地（別紙地図参照）

【参考】

ハマゴウはクマツヅラ科の常緑小低木で砂浜などに生育する海浜植物。別名ハマハイ、ハマボウ。茎は地面を這い、半ば砂に埋もれて伸びます。
葉は楕円形で、裏面は灰白色の毛で被われ、対生。まれに3出複葉になるものもあるようです。花期は7～9月（佐波江浜では昨年は7月末から咲き始めました）、芳香のある青紫色の花を円錐花序につけます。



ハマゴウの花（以前に撮影したものです）



－ 昨年の作業の様子

ハマゴウ保全活動 実施場所(ハマゴウ自生地)・集合場所



令和元年度の行事予定

①ハマゴウ保全活動 6月8日(土)：近江八幡市佐波江地先

ハマゴウは、海岸の砂地に分布する植物で海沿いに見られますが、内陸の淡水湖に自生しているところは琵琶湖以外に例がありません。

当管理所では群生地である近江八幡市佐波江町の琵琶湖岸にて、ハマゴウを保全するため、地域の皆様と協働で下草刈りなどの作業を行います。

この活動は平成19年から続けているものです。

②水質事故対応訓練 10月頃予定：湖南地区予定

当管理所施設からの油流出事故を想定して、対応訓練を行います。報道機関の方を対象に訓練を公開します。

③お魚里帰り大作戦 10月頃予定：草津市新浜(しんはま)ビオトープ

当管理所で管理しているビオトープで生まれたフナ・コイ類を、お子様と一緒に琵琶湖に帰す行事です。

④排水ポンプ内部の公開 11月頃予定：守山市 赤野井排水機場

ポンプの分解整備に合わせて、通常ご覧いただけないポンプ内部を報道機関の方を対象に公開します。

⑤事業説明会 随時：報道機関対象

当管理所の役割を知っていただくため、説明を希望される報道機関まで当管理所職員が出かけて事業説明を行います。ご連絡をお待ちしています。



びわこくん

お気軽にお問い合わせ下さい！